

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 31 日(2023.3.31)

【公開番号】特開 2021-175419(P2021-175419A)
【公開日】令和 3 年 11 月 4 日(2021.11.4)
【年通号数】公開・登録公報 2021-054
【出願番号】特願 2020-80899(P2020-80899)
【国際特許分類】
A 6 1 B 3/15(2006.01)
【F I】
A 6 1 B 3/15

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 3 月 23 日(2023.3.23)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

被検眼を撮影する眼科撮影装置であって、
筐体を有し、前記被検眼から前記筐体正面までの撮影距離が異なる第 1 撮影モードと第 2 撮影モードとを変更することが可能な、前記被検眼を撮影するための撮影手段と、
前記撮影手段のアライメント位置を検出する検出手段と、
前記検出手段の検出結果に基づいて、前記第 1 撮影モードによる撮影時の前記アライメント位置である第 1 アライメント位置を取得し、前記第 2 撮影モードによる撮影時は、前記第 1 アライメント位置に基づいて設定した目標位置へと、前記撮影手段を誘導するための制御手段と、
を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

30

【請求項 2】

請求項 1 の眼科撮影装置において、
前記撮影手段は、前記被検眼に対物光学系を介して測定光を照射し、前記測定光が反射された反射光に基づいて前記被検眼を撮影する、撮影光学系を有し、
前記第 1 撮影モードと前記第 2 撮影モードとにおいて前記対物光学系が切り換えられることで、前記撮影距離が変更されることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 3】

請求項 2 の眼科撮影装置において、
前記被検眼と前記撮影手段との間にて装着可能な、前記対物光学系を切り換えるための切換光学系を有す、光学アタッチメントを備え、
前記撮影手段は、前記第 1 撮影モードと前記第 2 撮影モードとにおいて前記光学アタッチメントが着脱されることで、前記撮影距離が変更されることを特徴とする眼科撮影装置。

40

【請求項 4】

請求項 3 の眼科撮影装置において、
前記第 1 撮影モードは、前記光学アタッチメントが装着されない状態にて前記被検眼を撮影するモードであり、
前記第 2 撮影モードは、前記光学アタッチメントが装着された状態にて前記被検眼を撮影するモードであることを特徴とする眼科撮影装置。

50

【請求項 5】

被検眼を撮影する眼科撮影装置にて用いられる眼科撮影プログラムであって、
前記眼科撮影装置のプロセッサに実行されることで、
前記被検眼から、前記被検眼を撮影するための撮影手段における筐体正面までの、撮影距離が異なる第 1 撮影モードと第 2 撮影モードとを変更する変更ステップと、
前記第 1 撮影モードによる撮影時に、前記撮影手段のアライメント位置を検出する検出ステップと、
前記第 2 撮影モードによる撮影時に、前記アライメント位置に基づいた目標位置へと、前記撮影手段を誘導する誘導ステップと、
を前記眼科撮影装置に実行させることを特徴とする眼科撮影プログラム。

10

20

30

40

50